

# 会員募集

会員を募集しています。わたしたちの活動を理解していただき、ご協力できる方、一緒にアジアでのボランティアをはじめませんか。

- |         |                                   |   |
|---------|-----------------------------------|---|
| (1) 入会金 | 正会員 1万円<br>活動会員 なし<br>賛助会員 なし     | 団体正会員 3万円<br>団体活動会員 3万円<br>団体賛助会員 なし    |
| (2) 年会費 | 正会員 1万円<br>活動会員 5千円<br>賛助会員 1口5千円 | 団体正会員 3万円<br>団体活動会員 3万円<br>団体賛助会員 1口5千円 |

振り込み先

- ・名義 「特定非営利活動法人 T・M良薬センター」
- ・銀行 「群馬銀行本店 普通 2134150」
- ・郵便局 「00160-5-591781」



「子ども達の未来を考える」

常時ご寄付を集めています



表紙写真／カンボジア・アンコールトム遺跡内バイヨン寺院  
印刷協力／群馬県沼田幼稚園（田代浩敬園長）

# ロンボークラブ 20



T・M良薬センター ニュースレター

福島／井戸／ミャンマー／教育支援



「あたりまえをあの子にも」

会報 第20号

平成25年 1月20日  
T・M良薬センター事務局  
371-0852 群馬県  
前橋市総社町総社 1024  
Tel&Fax : 027-254-2325  
E-mail : office@tmrc.jp  
<http://www.tmrc.jp>

## ごあいさつ

理事長小野文瑛

新年明けましておめでとうございます。

日頃から当会の活動にご理解ご協力頂き感謝申し上げます。今年の抱負を述べたいと思います。

●日蓮宗からアジアスタディツアーの委託を受けて3年目、今年もカンボジア・シェムリアップ州で2月に開催いたします。清水海隆理事、藤井淳至会員が指導に当たります。今回の主な体験作業は、現地の小学校の古くなった校舎のペンキ塗りです。企画も年々に充実し、参加者に有意義な国際交流の場を与えています。これからも私たちの積み上げてきたノウハウを活用して、国際人を育成する事業に尽力していきます。

●昨年暮れから支援を始めた原発被災地の仮設住宅でのサロン活動。今年も続けていきます。いつ戻れるかわからない双葉郡市町村の避難先では、うつ病や心身症が増大しています。仮設住民の安らぎの場作りのお手伝いに関わっていきたいと思います。原発事故を語り継ぎ、二度とこのような悲惨な人災を地球上でくり返さないよう、証言者としての活動を考えていきます。

●ミャンマー支援について、ようやく日が当たりだしました。軍事政権下で制約を受けながら、小川光星会員達が細々と教育支援や保健衛生向上の手助けをしてきましたが、この度民主化の気運に乗って事業が拡大することができそうです。ご期待下さい。

●しばらく途絶えていたベトナムプロジェクトですが、この1月に、会員を派遣し、今までの協力事業のその後について視察と現地での打ち合わせをしてきます。また復活することが予想されます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。拝

## 子ども教育支援

「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」([http://www.aeonretail.jp/campaign/yellow\\_receipt/](http://www.aeonretail.jp/campaign/yellow_receipt/))イオンが毎月11日に発行したレシートの、一部の金額を商品券で支援団体に寄付し社会貢献する活動で、当会は今年キャンペーンで、約1万4千円分の文房具を購入し、カンボジア・カンポット州モハーリ村「群馬藤岡小学校」に寄贈しました。また、新井恵裕会員(田無妙本教会内/西東京市)から中古ノート型パソコン7台の寄付があり、同校とモハーリ村病院に設置しました。



2009年3月に藤岡市のリサイクル活動によって開校した当校では、かつて校庭にある池で生徒が溺れる事故があり、妙心教会(中野浄蓮住職/行田市)の寄進で池を埋め立てグラウンドとして整地しました。



2010年3月に妙昌寺(村井淳匡住職/東松山市)のご寄付により開校した同州アウンシュク村「妙昌寺スクール」も盛況で、多くの生徒が学んでいます。2012年末、村井住職から更なる学校建設のご依頼があり、現在調整中です。安倍政権の急激なインフレ政策により円安が続き、建設費が上がっていますが、本年度中の開校を目指します。



## 井戸

現在まで、ミャンマー（1基15万円）とカンボジア（1基6万円）に合計26基寄贈されていますが、まだまだ多くの人々が井戸がなくて苦しんでいます。2012年夏に、シェムリアップ近隣の村人が池の水を飲んで、お腹を壊して亡くなりました。井戸の支援をいただける方のお申し込みをお待ちしております。

小崎龍延本圓寺住職（神奈川県葉山町）が、同寺で開催するチャリティイベントで集まったご寄付で、カンボジアに井戸を2基寄贈されました。→①シェムリアップ州ダムデク地区カシカス村



← ②シェムリアップ州ノコルタオン市クラバン村クラバンホスピタルセンター内に完成した井戸。アンコールワットの遺跡を望む同病院で、入院患者の生活用水として重宝されています。

→天龍寺（作田光照住職/群馬県藤岡市）ドナーにより、カンボポート州チュック郡チョライ村に井戸が完成しました。村を訪問すると、近隣の住民が洗濯をしている最中でした。



↑大阪和泉宗務所・同社教会が、タケオ州プレイプロウ村に寄贈した井戸が2012年9月に完成。水量、水質ともに上々で、大勢の人が使用しているとのこと。同宗務所はミャンマーにも1基寄贈していて、現在工事中です。

永田泰久会員（横須賀市正蓮寺内）がカンボポート州チュック郡チョライ村に寄贈した井戸が完成し、2012年11月に現地を訪れました。道が狭いため途中で車を降り、オートバイの荷台に分乗して、あぜ道を進みました。集落にある井戸に到着すると、利用して



いる村人が集まる中、オープニングセレモニーを行いました。いつでも使える浄らかな水に感激したと村人から永田会員に感謝が伝えられ、志が実った永田師も感動していました。

## NLD訪問

この度民主化されたミャンマーの、アウンサンスーチーさんが指導する政治団体、NATIONAL LEAGUE FOR DEMOCRACY を訪問しました。封鎖解除に伴いホテルの宿泊費が3倍に跳ね上がるなど、急速に国際的な変貌をとげるミャンマーの未来を、見守っていきたいと思います。



ミャンマーは2010年10月21日に軍事政権の意向により突然国旗が変わりました。同年11月にスーチーさんの軟禁が解かれ、2011年7月には政府側との対話が実現し、国の発展のために協力することが合意されました。NLD（国民民主連盟）の政治活動が認められると、2012年4月に行われた連邦議会の選挙には、擁立した立候補者44人中40人が、当選する大勝となりました。現在NLDは軍事政権を継ぐ現政権に対する、最大野党と言えるでしょう。

### NLDの旗

2012年11月23日、田代副理事長と小川事務局長がNLD ヤンゴン事務所を表敬訪問しました。対応したペン・ウー NLD 総合会長に、政変や政局に流されず、子ども達のために支援を続けていることを伝え、井戸の掘削費用（八王子法妙寺&大阪和泉宗務所）を託しました。東部トンワ州で工事中です。今後も積極的に交流を続けていく予定です。



## 原発関連支援

福島県双葉郡富岡町長のお話を聴く機会がありました。何かお手伝いできることはないかと、伺ったところ「おだがいさまセンター」を紹介してくださいました。

遠藤勝也富岡町長の話によれば、「町おこしのために原子力発電所を誘致し、1975年に1号機が着工、続いて2,3号機が、87年には4号機が運転を開始しています。安全神話のもと町が興隆したのも束の間、2011年3月11日、震度6強の地震に襲われます。驚くべき事は、原発が津波の被害をうける前に、揺れによりメルトダウン（放射能漏れ）につながる重大な事故が発生していたそうです。日本列島は地震を起こす大陸プレートの上にあるので、安全神話は真っ赤な嘘だったのです！！」

避難命令がでると、町長は住民を護るための対応に追われました。政府や東電との連絡や意思の疎通ができず、混乱し、また避難民の受け入れ先を確保するために身を削る苦勞をしたそうです。政府は「5年間で町を除染復興する」と示していますが、5年後に町に帰れるかどうか不安と語っておられました。

「おだがいさまセンター」(<http://odagaisama.com/>)は各地で避難生活している方々を支援するために設置された富岡町の組織です。当会の活動として、同センターが各仮設住宅で開催する「サロン」（仮設住宅の利用者がお茶をしながら和やかな一時を過ごしていただく活動）を支援することになりました。2012年10、11月2度コーヒーと緑茶、菓子等を郡山の仮設住宅に届けました。

